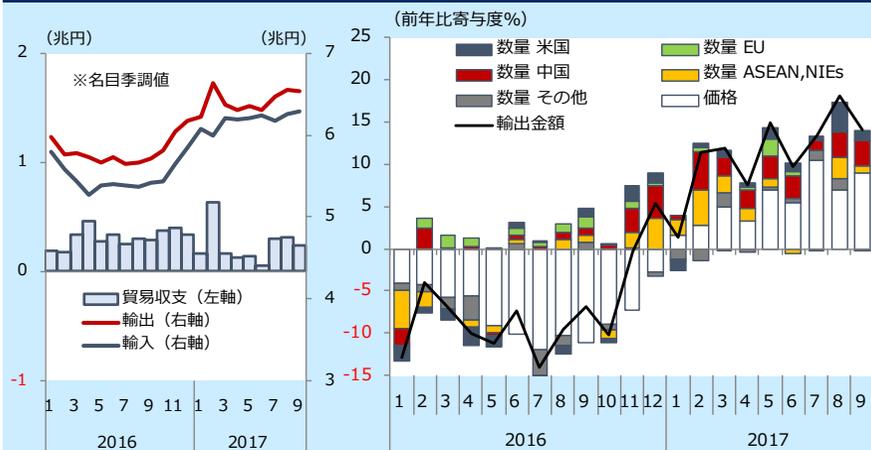


# 日本：貿易統計（2017年9月）

## — 半導体関連需要を背景に輸出は好調を維持 —

*MRI Daily Economic Points*  
October 19, 2017

### 貿易収支



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

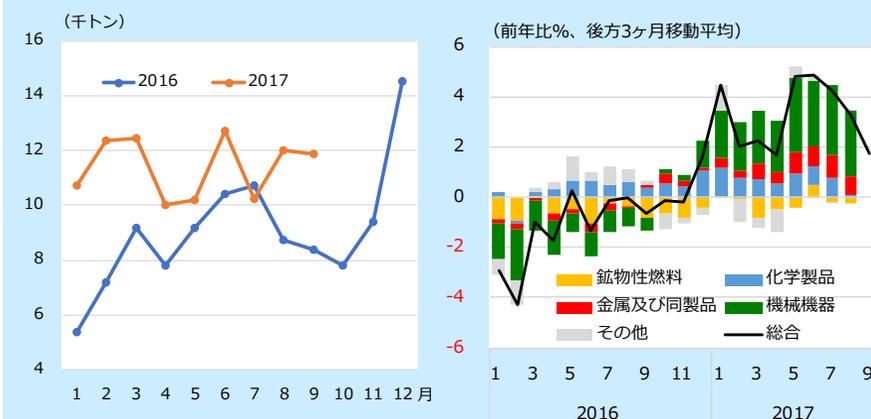
### 評価ポイント

#### 2017年9月の結果

- 17年9月の貿易統計は、輸出金額が前年比+14.1%と10ヶ月連続で増加。輸入金額も+12.0%と9ヶ月連続の増加となった。一方、貿易収支の季調値は+2,403億円と前月比▲22.0%と減少したが、23ヶ月連続で黒字となっている。
- 輸出金額の増加は、円安による輸出価格上昇の影響も大きく、その影響を除いた数量ベースでは、前年比+4.8%となった。前月（同+10.4%）から伸びは鈍化したものの、8ヶ月連続でプラス。米国向けの自動車輸出数量の伸びは前年比+2.6%と、8月の大きな伸び（同+22.2%）から縮小したものの、プラスを維持している。8月～9月のハリケーンからの復興需要に伴う自動車販売の回復も、日本からの輸出にプラス材料となる。また、アジア向けの半導体等電子部品（前年比+8.4%）や半導体等製造装置（同+41.3%）が引き続き大幅に伸びている。
- 輸入は、円安を背景に輸入価格が前年比+12.3%と伸びる一方、輸入数量は同▲0.3%と前月までの6ヶ月連続増加から微減に転じた。3ヶ月移動平均で見ても前年からの伸びは逡減傾向にあり、化学製品の伸びが低下している影響などが大きい。

### アジア向け半導体等製造装置輸出

### 品目別の輸入数量



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

#### 基調判断と今後の流れ

- 輸出は、世界的な半導体需要の増加を背景とした半導体製造装置などの輸出増に支えられ、好調を維持している。
- 先行きの輸出は、堅調な米国経済及びアジア経済の内需持ち直しを背景に、引き続き緩やかな回復を持続すると予測。この流れを牽引する半導体製造装置の輸出については、スマートフォン関連需要の鈍化の可能性はあるが、IoT需要や車載需要などの増加に支えられ、大幅な下振れはしないと想定される。